



【福島市議会政務活動費の交付に関する条例】

別記様式 その1 (第7条関係)

政務活動費収支報告

令和3年4月30日

福島市議会議長 梅津 政則 様

会 派 名 真政会

代表者名 会長 半沢 正典

令和2年度政務活動費収支報告(令和2年4月~令和3年3月分)について

福島市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項に基づき、別紙のとおり令和2年度政務活動費収支報告書(令和2年4月~令和3年3月分)を提出します。

【福島市議会政務活動費の交付に関する条例】

別記様式 その2 (第7条関係)

政務活動費収支報告書

令和2年度政務活動費収支報告書
(令和2年4月～令和3年3月分)

会 派 名 真政会

1 収 入

政務活動費 10,260,024 円 (うち利息 24 円を含む)

2 支 出

(単位 円)

項 目	金 額	備 考
調査研究費	1,500	視察会場費
研 修 費	0	
活動旅費	0	
広 報 費	5,553,966	会報発行など
広 聴 費	12,400	意見交換会会場費など
要請・陳情活動費	0	
会 議 費	0	
資料作成費	0	
資料購入費	72,540	書籍購入費など
事 務 費	2,037,411	NTT,パソコンリース料など
合 計	7,677,817	

3 残 額 2,582,207 円

注 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

現金出納簿

支出科目(総括)

(No. 1)

年月日	番号	収入金額(円)	支出金額(円)	差引残額(円)	支出内容
2: 4: 6	1		106,272	△ 106,272	政務活動費前期分
2: 4: 15		5,400,000		5,293,728	パソコン・複合機リース代 4月分 (リコーリース)
2: 4: 17	2		60,000	5,233,728	ディフファイル購読料2020年4月号～ 2021年3月号(イマジン出版株式会社)
2: 4: 20	3		253,000	4,980,728	会報60号 版下作成代 (第一印刷)
2: 4: 20	4		12,540	4,968,188	ガバナンス2020年4月号～2021年3月 号 (株式会社ぎょうせい)
2: 4: 20	5		1,668,018	3,300,170	会報60号印刷・新聞折り込み代 (福島カラー印刷)
2: 4: 24	6		2,620	3,297,550	NHK受信料4・5月分(NHK)
2: 5: 7	7		106,272	3,191,278	パソコン・複合機リース代 5月分 (リコーリース)
2: 5: 15	8		53,064	3,138,214	プリンタードラムユニット代 (福島リコピー)
2: 5: 15	9		17,160	3,121,054	複合機・インターネット使用料4月分 (福島リコピー)
2: 5: 28	10		6,316	3,114,738	令和2年5月分 (NTT東日本4月1日～4月30日)
2: 6: 4	11		106,272	3,008,466	パソコン・複合機リース代 6月分 (リコーリース)
2: 6: 9	12		705,980	2,302,486	会報61号版下作成・印刷・新聞折り 込み代 (第一印刷)
2: 6: 15	13		17,160	2,285,326	複合機・インターネット使用料5月分 (福島リコピー)
2: 6: 25	14		2,620	2,282,706	NHK受信料6・7月分(NHK)
2: 6: 25	15		6,281	2,276,425	令和2年6月分 (NTT東日本5月1日～5月31日)
2: 7: 6	16		106,272	2,170,153	パソコン・複合機リース代7月分 (リコーリース)
2: 7: 15	17		17,160	2,152,993	複合機・インターネット使用料6月分 (福島リコピー)
2: 7: 20	18		176,000	1,976,993	会報62号 版下作成代 (第一印刷)
2: 7: 20	19		795,630	1,181,363	会報62号印刷・新聞折り込み代 (陽光社印刷)
計		5,400,000	4,218,637	1,181,363	

現金出納簿

支出科目(総括)

(No. 2)

年月日	番号	収入金額(円)	支出金額(円)	差引残額(円)	支出内容
2: 7: 29	20		6,289	1,175,074	令和2年7月分 (NTT東日本6月1日~6月30日)
2: 8: 4	21		106,272	1,068,802	パソコン・複合機リース代8月分 (リコーリース)
2: 8: 6	22		94,440	974,362	事務用品(株式会社鈴富)
2: 8: 15		11		974,373	利息
2: 8: 17	23		17,160	957,213	複合機・インターネット使用料7月分 (福島リコピー)
2: 8: 25	24		2,620	954,593	NHK受信料8・9月分(NHK)
2: 8: 31	25		6,325	948,268	令和2年8月分 (NTT東日本7月1日~7月31日)
2: 9: 4	26		106,272	841,996	パソコン・複合機リース代 9月分 (リコーリース)
2: 9: 7	27		12,200	829,796	市民会館使用料「市民との意見交換 会開催」 (11月4日使用)
2: 9: 15	28		17,160	812,636	複合機・インターネット使用料8月分 (福島リコピー)
2: 9: 29	29		6,272	806,364	令和2年9月分 (NTT東日本8月1日~8月31日)
2: 10: 5	30		106,272	700,092	パソコン・複合機リース代10月分 (リコーリース)
2: 10: 15	31		17,160	682,932	複合機・インターネット使用料9月分 (福島リコピー)
2: 10: 15		4,860,000		5,542,932	政務活動費後期分
2: 10: 16	32		994,015	4,548,917	会報63号版下作成・印刷・新聞折り 込み代 (第一印刷)
2: 10: 28	33		6,325	4,542,592	令和2年10月分 (NTT東日本9月1日~9月30日)
2: 10: 28	34		2,550	4,540,042	NHK受信料10・11月分(NHK)
2: 10: 28	35		6,028	4,534,014	赤外線体温計代(株カワチ薬品)
2: 10: 29	36		712	4,533,302	クリップ付きペンシル(オフィスエイト)
2: 11: 3	37		412	4,532,890	ポリクロステープ(ダイユーエイト)
計		10,260,011	5,727,121	4,532,890	

現金出納簿

支出科目(総括)

(No. 3)

年月日	番号	収入金額(円)	支出金額(円)	差引残額(円)	支出内容
2:11:4	38		200	4,532,690	市民会館における「意見交換会開催」時の持込器具電気使用料(11月4日使用)
2:11:4	39		106,272	4,426,418	パソコン・複合機リース代11月分(リコーリース)
2:11:16	40		17,160	4,409,258	複合機・インターネット使用料10月分(福島リコピー)
2:11:16	41		65,241	4,344,017	プリンタートナー代(福島リコピー)
2:11:30	42		6,289	4,337,728	令和2年11月分(NTT東日本10月1日~10月31日)
2:12:4	43		106,272	4,231,456	パソコン・複合機リース代12月分(リコーリース)
2:12:15	44		19,342	4,212,114	複合機・インターネット使用料11月分(福島リコピー)
2:12:24	45		2,550	4,209,564	NHK受信料12・1月分(NHK)
2:12:25	46		6,342	4,203,222	令和2年12月分(NTT東日本11月1日~11月30日)
3:1:4	47		106,272	4,096,950	パソコン・複合機リース代1月分(リコーリース)
3:1:15	48		17,160	4,079,790	複合機・インターネット使用料12月分(福島リコピー)
3:1:15	49		154,000	3,925,790	会報64号 版下作成代(第一印刷)
3:1:15	50		807,323	3,118,467	会報64号印刷・新聞折り込み代(阿部紙工)
3:1:29	51		6,307	3,112,160	令和3年1月分(NTT東日本12月1日~12月31日)
3:2:4	52		106,272	3,005,888	パソコン・複合機リース代2月分(リコーリース)
3:2:10	53		1,500	3,004,388	イノフィス福島研究所視察会場費(2月19日使用)
3:2:15	54		21,908	2,982,480	複合機・インターネット使用料1月分(福島リコピー)
3:2:15	55		65,241	2,917,239	プリンタートナー代(福島リコピー)
3:2:20		13		2,917,252	利息
3:2:24	56		6,308	2,910,944	令和3年2月分(NTT東日本1月1日~1月31日)
計		10,260,024	7,349,080	2,910,944	

現金出納簿

支出科目(総括)

(No. 4)

年月日	番号	収入金額(円)	支出金額(円)	差引残額(円)	支出内容
3: 2: 24	57		2,550	2,908,394	NHK受信料2.3月分(NHK)
3: 3: 3	58		14,850	2,893,544	令和2年度タブレット端末通信使用料 令和2年10月～令和3年3月分
3: 3: 4	59		106,272	2,787,272	パソコン・複合機リース代3月分 (リコーリース)
3: 3: 15	60		19,215	2,768,057	複合機・インターネット使用2月分 (福島リコピー)
3: 3: 19	61		3,300	2,764,757	クラウドサービス 2020年度分 (福島リコピー)
3: 3: 19	62		37,180	2,727,577	プリンター貸借料 2020年度分 (福島リコピー)
3: 3: 19	63		89,100	2,638,477	モバイルバッテリー代(福島リコピー)
3: 3: 19	64		17,721	2,620,756	ドラムユニット代(福島リコピー)
3: 3: 25	65		6,317	2,614,439	令和3年3月分 (NTT東日本2月1日～2月28日)
3: 4: 15	66		25,906	2,588,533	複合機・インターネット使用3月分 (福島リコピー)
3: 4: 28	67		6,326	2,582,207	令和3年4月分 (NTT東日本3月1日～3月31日)
計		10,260,024	7,677,817	2,582,207	

現金出納簿

支出科目(調査研究費)

(No. 1)

年 月 日	番号	支出金額(円)	累計額(円)	支 出 内 容
3 2 10	53	1,500	1,500	イノフィス福島研究所視察会場費(2月19日使用)
計		1,500	1,500	

領収書等添付用紙

No. (53-1)

福島市財務会計 施設 2002194139
納入通知書・領収書

年度	伝票種別CD	年	月	短縮CD	*	*	*
020202	8030	2	19	2	*	*	*
納入者 960-8601							
住所 福島県福島市五老内町3-1							
氏名 福島市議会真政会							
合計	款	項	目	節	細節	*	*
011501060105						*	*
科目名称							
産業交流プラザ使用料							
下記の金額を最寄りの金融機関に納付してください							
発行日							
令和3年2月8日							
発行元							
公益財団法人 福島県産業振興センター							
理事長 鈴木清昭							
金額					¥	1500	
納付の内容 産業交流プラザ使用料							
納期限 令和3年2月14日							
上記のとおり領収しました。							



金融機関→納入者

許可番号 第 2002194139 号

福島市産業交流プラザ使用許可書

福島市議会真政会

2021 年 02 月 08 日

萩原 太郎

様

福島市指定管理者
公益財団法人福島県産業振興センター
理事長 鈴木清昭



次の通り使用を許可します。

使用目的 (催物の名称)	打合せ		
使用する施設名	使用年月日	使用時間	
3階:301会議室	2021年02月19日	09時から13時	
営利目的の別	営利目的外		
附属設備使用の有無			
使用料	施設基本使用料※	既納使用料	使用料合計
	1,500円	0円	1,500円
許可条件等	1 催物を開催するために使用するときは、使用開始日の前日までに、プログラム、要項等持参の上職員と打合せを行うこと。 2 販売品、配布物等があれば事前に届け出ること。		

備考

- 1 使用の際は、この許可書を職員に提示し、その指示に従い使用してください。
- 2 使用終了後は、清掃を行い、施設及び附属設備を原状に回復し、職員の点検を受けてください。
- 3 この許可書を他へ譲渡し、又は貸与しないでください。
- 4 使用料金額には、附属設備使用料は含まれておりません。


イノフィス福島研究所・福島市議会真政会

懇談会次第

令和3年2月19日(金) 10:00

コラッセ 3階 301会議室

進行 真政会 石山波恵 副政調会長

- 1、 開会
- 2、 真政会 半沢会長挨拶
- 3、  挨拶
- 4、 意見交換
 - ① 福島研究所の業務内容
 - ② 福島市に研究所を開設した経緯
 - ③ 新型コロナの影響
 - ④ 今後の事業展開
 - ⑤ 福島市又は行政に望むこと
- 5、 マッスルスーツの試着体験をお願いいたします
- 6、 閉会

現金出納簿

支出科目(広報費)

(No. 1)

年 月 日	番号	支出金額(円)	累計額(円)	支 出 内 容
2 4 20	3	253,000	253,000	会報60号版下作成代(第一印刷)
2 4 20	5	1,668,018	1,921,018	会報60号印刷・新聞折り込み代(福島カラー印刷)
2 6 9	12	705,980	2,626,998	会報61号版下作成・印刷・新聞折り込み代(第一印刷)
2 7 20	18	176,000	2,802,998	会報62号版下作成代(第一印刷)
2 7 20	19	795,630	3,598,628	会報62号印刷・新聞折り込み代(陽光社印刷)
2 10 16	32	994,015	4,592,643	会報63号版下作成・印刷・新聞折り込み代(第一印刷)
3 1 15	49	154,000	4,746,643	会報64号版下作成代(第一印刷)
3 1 15	50	807,323	5,553,966	会報64号印刷・新聞折り込み代(阿部紙工)
計		5,553,966	5,553,966	

領収書等添付用紙

No. (3-1)

領 収 書

令和 2 年 4 月 20 日

福島市議会真政会 様

¥ 253,000

上記の金額正に受領いたしました。



No 040099

株式会社 第一印刷

代表取締役 幸

本社・工場 福島市阿字町1丁目1番地2(福島工業団地内)
TEL (024) 536-5220 FAX (024) 536-6100

品名	数量	単価	金額	内訳
福島市議会真政会会報60号 版下作成	1式		230,000	現金 小切手 振込 相殺 手形 期日 令和 年 月 日
消費税			23,000	
合計			¥ 253,000	

担当印



担当印のないものは無効です

領 収 書 等 添 付 用 紙

No. (3 - 2)

請 求 書

2020 年 4 月 10 日

福島市議会 真政会

様

代表 印刷 幸 治
 本社・工場 福島市 印刷字 印刷 印刷 印刷
 TEL 0241-5381181 FAX (024) 538-6100

品 番

品 名

名

数

量

単 価

金 額

1 01-017-00-1

福島市議会真政会会報60号

式

1

230,000

1 10

版下作成

1

230,000

伝No 114781
5555

摘要

[小 社]

230,000 [消費税等]

合 計

253,000

領 收 書 等 添 付 用 紙

No. (5 - /)

領 收 書

平成14年4月20日 003786

福島印刷株式会社様

金額 7,668,018-

現金	小切手	手形	内 訳
			本件価格
			消費税

福島印刷株式会社

収入印紙 2000円

収入印紙 2000円

担当

FUKUSHIMA COLOR PRINTING FUKUSHIMA COLOR PRINTING FUKUSHIMA COLOR PRINTING FUKUSHIMA COLOR PRINTING FUKUSHIMA COLOR PRINTING

福島市議会
真政会 様

請求書

令和2年4月13日


下記の通り御請求致しました。


福島力~~式印刷~~株式会社
〒960-2101 福島市~~本~~くら3丁目2-7
TEL 024-594-2188
FAX 024-594-2189
代表取締役 渡邊 泰~~夫~~


合計金額 **¥1,668,018**—

品名	数量	単位	単価	金額
福島市議会 真政会報	70,300	枚	14,60	¥1,026,380
令和2年4月12日(日)折込	70,000	枚	7	¥490,000
消費税(10%)				151,638
合計				¥1,668,018

振込先





担当 

Vol.060

福島市議会真政会報
— 令和2年4月 —

真政会報

真政会綱領

私たちは地方自治の信念に則り行政に対する監視と提言を怠ることなく、常に市民と行政のパイプ役として「市民」「議会」そして「市当局」との三位一体を旨とし、市民福祉の向上と地域の振興・発展、真の市政伸展に邁進することを誓う！



真政会主催の「第8回市民の皆さんとの意見交換会」は、新型コロナウイルスの収束状況を注視しながら検討してまいります。

3月定例会議の報告

3月2日から25日までの24日間にわたり定例会議が開催され、議案60件中人事案件等4件を除く56議案を4常任委員会と予算分科会で審議を行った。冒頭に、市長から「新型コロナウイルス感染症対策本部」設置と本市の取組が示された。また、昨年の台風19号から安全安心の充実に取り組むとともに、オリンピック開催や連続テレビ小説「エール」の放映で千載一遇のチャンスを活かすと述べた。その後、新年度9つのプロジェクト方針が示された。(3ページ参照) また、現下の情勢を鑑み当会派より①新型コロナウイルス対策②福島の復興・創生に関する意見書(6ページ参照)を提出し採択された。

令和2年度の予算委員会の報告

新年度予算について、固定資産税の増収が見込まれる一方で、法人市民税は減収の見込みであり、歳出では、経費の節減合理化を図る等の説明があった。一般会計当初予算は、1千170億円であり、うち除去土壌搬出等の除染関連事業費、103億2千820万円を除くと過去最高額となるほか、水道事業会計が112億4千900万円余、下水道事業会計が、125億300万円余、農業集落排水事業会計が、2億8千700万円余、その他特別会計557億4千100万円余、総計で1千967億8千100万円余の予算案が示された。予算特別委員会委員長には、当会派大平洋人議員が選任され審議を行った。



会長挨拶



半沢 正典

新型コロナウイルスによる影響で世界中が大混乱をきたしております。幸い3月30日時点で本市において

では、感染が確認されておりません。しかし、感染に備え市保健所を中心に24時間体制でその対応に当たっています。中核市に移行し感染症に関する情報は県を介さず直接国から入り、その情報に基づき迅速にかつ的確な対応を行っております。改めて中核市移行によるメリットを実感致しました。今後移譲された権限を最大限活用し最も生活者に近い行政として、その最大の使命である市民の生命、財産を守るため会派として政策に磨きをかけて参ります。

TEL 535-1111
FAX 533-7604

E-mail ▶ host@fk-shinseikai.org

発行責任者 ▶ 半沢 正典
編集責任 ▶ 政務調査会

各常任委員会・予算委員会の報告

常任委員会は、少人数で専門的に審議をつくすために設置される委員会で、それぞれが所管する事務の調査、議案、請願、陳情の審査などを行います。福島市議会基本条例に基づきさらに頑張ってまいります。

なお、【 】内は当会派のそれぞれの所属議員名です。

総務 (定数9人) 【白川敏明・大平洋人】

【総務部】

改正健康増進法が本年4月より全面施行されるため、快適に過ごせる施設環境整備を促進し、市民等の健康保持増進及び健康寿命の延伸を目指すため、福島市の公共施設における受動喫煙防止対策方針を定める。

【政策調整部】

マイナンバーカードを活用したポイント制度である「マイナポイント」の利用に必要となる各種設定を支援し、消費の活性化、マイナンバーカードの普及促進を図る。

【消防本部】

福島市消防団は市民の安全・安心を守るため地域防災の中核として活動しているが、団員の減少、高齢化、サラリーマン化が進み災害出動者が減少している。国において消防団の重要性を示したため、本市においても機能的団員制度の導入等により、災害の多様化・大規模化に対応していく。



消防団による出初め式

今回の主な補正予算

● 防火水槽整備事業	1,833万円
● 飯坂IC周辺用地買戻し	3億4,816万円

文教福祉 (定数8人) 【二階堂利枝・萩原太郎・半沢正典】

【教育委員会】

瀬上小学校、西信中学校の屋内運動場の改築を進め、安全な学習環境を確保する。

これからの時代を生きる子供たちが最先端技術を効果的に活用出来るよう、1人1台端末校内通信ネットワーク等の学校ICT環境の整備を進める。

【こども未来部】

「子育てするなら福島市」として、子ども・子育て新ステージ2020推進事業、その中の新事業の一つ福島型給食推進事業をスタートさせ、本市産農産物の使用拡大を図ると共に、給食費の負担を軽減する。

【健康福祉部】

年齢を重ねても元気に活躍できるように、「健都ふくしまの創造」を推進するとともに、「誰にでもやさしいふくしま」の実現を目指し、バリアフリー事業を推進する。また、心のバリアフリーの啓発をはじめとした、多文化が共生するまちづくりを行う。



コラッセ前点字ブロック

今回の主な補正予算

● ICT教育フューチャービジョン推進事業費	14億6,500万円
● 幼・小中学校校舎等耐震補強事業費	5億3,990万円

経済民生 (定数9人) 【石山波恵・小松良行】

【農政部】

有害鳥獣への迅速な対応及び狩猟に関する専門知識、狩猟免許等を具備した職員を配置する。イノシシによる農作物被害軽減を図るため捕獲頭数の増加に対応し補助金を増額する。また、林業・木材産業成長化促進対策事業が創設され、民有林の整備を計画的に進める。

【商工観光部】

古閑裕而記念館の展示をリニューアルすると共に古閑氏ゆかりの自治体によるサミットを開催し、音楽を活かした新たな都市間交流を進める。

【市民・文化スポーツ部】

国重要文化財「しゃがむ土偶」の魅力を発信するため展示会や講演会など多彩なイベントを開催する。また、十六沼公園サッカー場の人工芝二面の張替え工事を行う。



しゃがむ土偶

今回の主な補正予算

● 産地パワーアップ事業費	1億2,443万円
● 担い手確保・経営強化支援事業費	1,887万円

建設水道 (定数8人) 【黒沢仁・渡辺敏彦】

【都市政策部】

頻発する豪雨や台風等による水害への防災対策として、河道掘削・浚渫、護岸等のハード整備を進める。また、浸水の予防及び被害軽減のため、道路側溝の増設工事等も行い、市民の安全・安心を確保する。

【建設部】

市内中心部の貴重な公共空間である新まちなか広場を賑わい交流や回遊軸の拠点として整備し、中心市街地の活性化を図る。地域公共交通活性化事業として、公共交通網が行き届いていない地域に対し、市民二

ズに対応した新たな交通モード(小さな交通)による社会実験をする。

【環境部】

水素エネルギーの利活用調査を行うとともに、その特徴や有用性について普及啓発を図り水素モデル推進の事業を進める。



水素で走る燃料電池バス

今回の主な補正予算

● 河川災害緊急事業	2億4,919万円
● 新最終処分場整備事業	29億4,440万円

福島市の新ステージへ～主要な9つのプロジェクト～

福島市の新ステージへ向けた当初予算の主な施策事業について紹介します。

1 安全・安心なまちづくり

計23事業
119億6,483万円

- 災害対策の強化
- 消防力の充実強化
- 気候変動に対応した住み続けられるまち
- 除去土壌の現場保管解消
- 生活環境の整備

2 オリンピック・パラリンピックと遺産の創出

計13事業
127億1,900万円

- 大会開催に向けた推進事業
- オリンピック・パラリンピックを契機としたまちづくり

3 古関裕而を活かしたまちづくり



計9事業
2億1,490万円

- 古関裕而記念館魅力発信事業
- 「古関裕而ゆかりのまちサミット」の開催
- 古関裕而メロディーバス実証運行事業 など

4 子どもたちの未来へ



計19事業
142億2,825万円

- 子ども・子育て新ステージ2020推進事業
- 待機児童の解消と子育て環境の整備
- 充実した学習環境の整備

5 「健都ふくしま」の創造

計13事業
21億8,853万円

- 「健都ふくしま」の創造事業
- 「高齢者の元気」創造事業



(仮称) 道の駅ふくしま イメージパース

6 まちのにぎわいと活力

計31事業
30億1,594万円

- インバウンド等観光対策の強化
- 地域振興施設「道の駅」の整備
- 商工業の振興
- 農林業再生と振興への展開
- 中心市街地の活性化

7 風格ある「県都ふくしま」

計24事業
35億8,088万円

- 中心市街地のまちづくりと公共施設の再編整備
- 連携中枢都市圏構想・広域連携の推進
- 移住・定住推進パッケージ
- シティセールス重点パッケージ
- 歴史・文化と次世代環境が調和したまちづくり

8 誰にでもやさしい共生社会の推進

計8事業
4,339万円

- バリアフリー推進パッケージ
- 多文化共生の推進
- 動物愛護事業

9 市政運営の新ステージ

計15事業
1億5,320万円

- 市民協働でふくしまの未来を描く
- 市民サービスの向上
- ICTを活用した業務効率化

3月定例会議代表質問 (抜粋)

真政会を代表して
萩原太郎議員が
当局に質しました

本市は、公共施設の建て替えなどに歳出が膨らむ中、将来の子や孫たちに過大な負担を強いることなく安定した行財政運営を行うため重要な定例会議との認識に立ち、市長の新年度施政運営方針や新型コロナウイルス感染症対策、本市総合計画など市政各般に亘り、大項目18件、細目55件について市当局に会派の意見・提案を交えながら質した。

市長の新年度における施政運営方針を伺う

新年度は、東日本大震災及び原発事故から10年目に入るとともに、東京2020オリ・パラ開催や「エール」の放映は福島と復興に、大きな注目が集まる千載一遇のチャンスである。それを活かして全国、世界から多くの人々を集め、風格ある県都にふさわしい街づくりを進める。また、人口減少社会の課題について、子供たちに環境の充実や都市ブランド力の強化等により、子育て世代が集まり、移住・定住の人气が高まるように努める。さらに、地域社会の様々な面でグレードアップを図り、将来に向けてレガシーを形成し、広域の発展もけん引する。

また、新年度は本市の未来を大きく変える年となる。引き続き開かれた市政とスピードと実行をモットーに市民・議会と力を合わせ安全・安心なまちづくり等、9本の重点施策を柱として市政を推



進し、心から住んでよかつたといえる街、世界にエールを送る街を目指す。

本市の復旧・復興の現状認識及び今後の取組について伺う

市民の安全・安心の確保を図るため国、県の支援を活用しながら市として主体的に様々な復興に取り組んできた。復興の次に創生があるのではなく、新ステージを目指す創生を進めてこそ復興が達成できるものと考えている。

現在、復興は着実に進展しているものの、いまだ道半ばであり放射線に対する不安や、農作物等の風評被害は根強く残っていると認識しており、中長期的な視点に立ち市民の健康管理や心のケア、風評払拭に取り組むとともに県都の責任として震災の記憶と教訓を次世代に継承しながら新ステージを目指す施策を一層推進し県全体の復興創生をけん引する。

3月定例会議一般質問 (抜粋)

今回の一般質問では、当会派からは大平洋人議員、黒沢仁議員の2名が質問に立ち、市政全般の諸課題を質しました。

新型コロナウイルスの影響と対策について

Q 業務上、二次感染の可能性が高い消防職員、緊急車両担当者等に対する感染防御策の詳細を伺う。

A 国内における新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けて消防本部は滅菌や除菌効果があるオゾン発生装置を保有する救急車10台と予備車2台に、装備することにしました。

さらに消防職員や救急職員に対し感染症対策に関する知見と防護衣の着脱訓練等の技術習得を実施すると共に、業務遂行上使用する特殊マスクやアルコール消毒液等の確保に努める。

福島に根ざした吾妻五葉松の活用について

Q 盆栽作家並びに盆栽愛好家の協力のもと、東京五輪を契機に盆栽展、講習会を展開すべきと考えが見解を伺う。

A 近年、盆栽は欧米を中心に世界的なブームとなっており、本市も観光資源の発信からも、ふくしま花観光のコンテンツの一つとして位置づけており、東京五輪以降の誘客プログラムとして生産者と愛好関係者と一体となり、盆栽を活用した技術指導、自生地訪問や体験合宿を実施するなど幅広い普及活動に努める。

福島駅東口地区市街地再開発事業について

Q 「福島駅前交流・集客拠点整備」における市の施設に要する費用が150億円と想定されたが、年間維持費を内訳も含め伺う。

A 仮の試算では、想定面積の1万3千㎡をもとに他市の事例を参考

にすると、施設の保守、営繕管理費、人件費、光熱水道費等概ね4億円程度となる。

*事業費の負担増も考えられることから、健全な財政運営が損なわれることの無いよう要望した。

福島型給食推進事業について

Q この事業で給食費の保護者負担軽減がどの程度図れるのか伺う。

A 市立のみならず、国立、私立を含む市内の小・中学校や幼稚園、認可外を含む保育施設を対象に実施する。補助金を交付することにより、地産地消率の目標を50%とし、給食費を25%程度軽減する。



救急車内酸素発生装置



学校給食の一例

研修会

議会ICT化と働き方改革

タブレットの操作とともに先行導入し成果を上げている横手市議会の事例を研修した。議会では、議案、予算、各種計画等膨大な量の紙資料に対する環境負荷の軽減、印刷や送付事務の軽減とともに、多様な活動による市民サービスの向上につなげていることなど参考となった。民間企業においては先駆けて、省力化、効率化、迅速化を進めており、議会においても成果が見込めることから、今後ICT化の導入に向けて参考となる研修であった。



行政視察

先進地を視察

八代市

フードバレー八代について

八代市は豊富な農林水産物を活かして、「フードバレーやつしる基本戦略構想」を策定した。先端技術活用による生産性向上、6次化に取り組み農林水産事業者への支援、研究開発・販路拡大の支援、地域未来投資促進法等の国、県の制度を活用して生産基盤強化と独自ブランド化を目指すものであり、本市に対しても八代市の取組を参考に提言していく。



日田市

九州北部豪雨からの復旧の取り組み

日田市は毎年のように豪雨に襲われ、今なお強靱化に向けた取り組みがなされている。その他、地域住民の啓発、自主防災組織活性化をはじめ情報伝達機能強化に向けたデジタル防災行政無線の全戸貸与配布が決定している。昨年の台風19号の教訓からも同報無線システムは、IT弱者や要支援者の避難に成果があるものと認識し、本市の取り組みの参考にす。



延岡市

健康長寿のまちづくりについて

健康長寿の具体的な取組みのため「市民運動行動計画書」が策定され「1に運動、2に食事、3にみんな健康受診」をスローガンとして活動した。また、仲間づくりや助け合いを進める地域づくりの醸成が必要であり、健康長寿推進リーダー・推進員を約1100名委嘱し継続的な取組を実施し効果を上げていることなど本市取組の示唆となるものであった。



イービーエム社視察研修

「東日本大震災及び原発事故から福島復興の一助になれば」との思いで、朴栄光社長は、平成28年10月に本市に事業所を開設した。朴社長は、手術トレーニングシミュレータの開発や、医療機器への応用展開も期待される血流解析技術等の事業概要とともに本市について、首都圏からも近くまた、駅を中心に研究施設や観光地がそろいコンパクト性に優れ、かつ自然環境にも恵まれた魅力的な街であることなどを示され有意義な研修であった。今後も、企業の視察研修を継続して、地域経済の活性化と、雇用の拡大に資する政策を提言する。



研修報告

聴覚障がい者団体との懇談会

平成31年4月1日に施行された「手話言語条例」の制定を受けその成果と課題の検証との観点から懇談会を行った。成果として、手話に対する理解と関心が高まり健常者との距離が近くなったとの意見がある一方で、未だ手話通訳者が少ないなどの課題もあった。今後とも、条例の浸透と実効性ある施策を展開するとともに、何よりも寄り添う姿勢こそ重要であると認識した。



研修報告

会派 新人議員施設研修

今回は、福島斎場、じよーもぴあ宮畑、及び東部給食センターでは更新する食洗器の説明、あぶくまクリーンセンターでは所内の説明とプラスチック分別の過程で不適切物混入の実態についても説明を受けた。市の施設を視察することは、予算や条例審議の上でも実態を把握し課題を整理することが重要であることから、意欲的に取り組んでいく。



郡山市議会志翔会との懇談会開催

懇談会では、両市において被害が大きかった台風19号についての対応状況や今後の課題について、意見の交換を行った。郡山市では死者が出ているほか、阿武隈川の氾濫による工業団地の被害は甚大であり、以前にも被害があったことから、会社の移転を検討する企業も出ているなど、市政においても深刻な状況となっている。一刻も早く復旧するとともに、国土強靱化に基づき国の支援を求めていくなど、今後も情報交換していくこととした。



当会派提出の意見書が採択されました。

新型コロナウイルス感染症対策の徹底及び支援を求める意見書

中国・武漢市を中心に発生した新型コロナウイルスによる感染症（COVID-19）が世界各地に拡大し、3月10日現在、全世界で感染者は112,000人超、死者も3,990人を超えて広がり、我が国においても感染者514人、死者9人と事態は未だ収束の兆しを見せていない。また、内閣総理大臣が感染拡大防止対策として、小中学校、高等学校等の臨時休校を始め多数の人が集まるスポーツ、文化イベント等の中止、延期又は規模の縮小等の対応を要請するなど異例の措置が講じられている。感染状況が刻々と変化し、子どもたちの教育・保育は基より、国民の暮らしにも深刻な影響を及ぼしていること、また、本市の連続テレビ小説「エール」を活かしたまちづくりや花観光、2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会への影響も懸念されていることから、早急な対応が必要である。

よって、国においては、国民の安全安心を確保するとともに流通、経済の不安を解消するため、感染拡大防止に向け周辺諸国及び地方自治体と連携・協力し、全力を挙げて取り組むよう強く求める。

(真結の会との共同提出)

福島復興・創生に対する中長期的支援を求める意見書

去る2月24日、福島復興再生協議会において福島復興再生特別措置法の改正内容が示され、政府は本年3月3日、法の改正案を閣議決定した。また、内堀雅雄福島県知事は2021年3月で終了する復興・創生期間後の継続的な被災者の生活再建、風評払拭と風化防止等7点を要望し、着実かつ息の長い取り組みの継続と財源の確保を求めている。

本市においても、東日本大震災からの復興は道半ばであり、東京電力福島第一原子力発電所事故による放射能汚染問題は、未だ市民の健康被害への懸念、農産品や観光地等の風評被害として日々の生活に重く押し掛かっていることから、福島圏域自治体にとっても中長期的な対策の継続が必要である。

よって、国においては、福島復興・創生を加速させるため、中長期的に支援を行うよう強く求める。

新庁舎西棟建設調査特別委員会報告

平成23年に東庁舎開庁後、西棟の建設に着手する予定であったが、東日本大震災及び原発事故により延期されることになった。その後、市民会館及び中央学習センターの老朽化に伴い、西棟に両施設を統合して市民棟として建設に動き出し、議会としても、特別委員会を設置し調査を行うこととした。将来の社会変化に対応できるように時機により機能変化が可能な整備を行うとともに、当初設計より全員協議会室の併用などコスト縮減についても市へ提言した。



平塚市議場視察

編集後記
新型コロナウイルス感染症に世界中が、不安と恐怖におびえる日々。例年なら満開の桜に春を満喫していたはずが、今年は様々なストレスにたいし食欲が落ちてしまっている人もいます。でも、ちょっと待って！今こそ市民総ぐるみの「健都

福島」を目指し、こまめに体を動かすとともに、笑って免疫力を上げ、病気に負けない強靱な体づくりをみんなで行いましょう。一日も早い収束を願って。

黒沢 仁
顧問(総務会担当)
建設水道常任委員
議会運営委員
飯野町大久保字谷津44
TEL: 562-3592

渡辺 敏彦
顧問(幹事会担当)
建設水道常任委員
監査委員
松川町字青麻山3
TEL: 567-2660

半沢 正典
会長
文教福祉常任委員
予算特別委員会理事
上島渡字寺北28-3
TEL: 593-5256

大平 洋人
総務会長
総務常任委員
予算特別委員会
委員長
八島田字東本庄町4-27
TEL: 559-2043

白川 敏明
幹事長
総務常任委員
委員長
飯坂町字中原36
TEL: 542-4041

小松 良行
副会長(政調会担当)
経済民生常任委員
議会運営委員
新庁舎西棟建設調査
特別委員
瀬上町字東町2-6-10
TEL: 553-0647

二階堂 利枝
政調会副会長
文教福祉常任委員
新庁舎西棟建設調査
特別委員
予算特別委員会理事
上野寺字道上13-3
TEL: 535-6719

石山 波恵
政調会副会長
経済民生常任委員
議会運営委員
置賜町8-18-402
TEL: 526-0852

萩原 太郎
政調会長
文教福祉常任委員
新庁舎西棟建設調査
特別委員
予算特別委員会理事
山口字下屋敷28-2
TEL: 535-4693

領収書等添付用紙

No. (12- /)

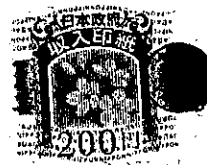
領収書

令和2年6月9日

福島市議会真政会 様

¥ 705,980

上記の金額正に受領いたしました。



No. 040127

株式会社

代表取締役 幸

本社・工場 福島市阿部町 福島工業団地内
TEL (024) 536-5220 (024) 536-6100

品名	数量	単価	金額	支払方法
会報	69,000	5.3	3,657.00	現金 小切手 振込 相殺 手形 期日
版下作成費	2	35,000	70,000.00	
折込	68,700	3	206,100.00	
消費税			641.80	
合計			¥705,980.00	

令和 年 月 日

担当印

担当印のないものは無効です

領収書等添付用紙


No. (12-2)

請求書

2020年6月5日

福島市議会真政会

様


 代表取締役 幸治
 福島市 幸治印刷
 〒960-8201
 福島市 幸治印刷
 TEL 024-5311821
 FAX 024-556-6100
 本社・工場
 福島市
 TEL 024-5311821

品番	品名	数量	単価	金額
1 01-008-00-1	福島市議会真政会報	枚	69,000	5.30
1 99-99-9999	版下作成費	2	35,000.	70,000
1 99-99-999	折込日 令和2年6月9日	枚	68,700	3.
1 10	(民報:民友)福島市内(6月1日現在)			206,100
				0
伝No 115346 5555	摘要	[小計]	641,800 [消費税等]	64,180
		合計		705,980

Vol.061
福島市議会真政会報
 — 令和2年6月 —

真政会報

真政会綱領

私たちは地方自治の信念に則り行政に対する監視と提言を怠ることなく、常に市民と行政のパイプ役として「市民」「議会」そして「市当局」との三位一体を旨とし、市民福祉の向上と地域の振興・発展、真の市政伸展に邁進することを誓う！

新型コロナウイルス感染症対策、生活・経済再建



真政会 会長
半沢 正典

新型コロナウイルスの全国的な感染拡大に伴い発出されていた緊急事態宣言も本県においては5月14日に解除となりました。今後、第2波、第3

波が発生しないよう感染症対策、新しい生活様式の確立また、検査・医療体制の充実を図らなければなりません。併せて市民生活、市内経済の回復、再建を進めるべく国の施策に併せ本市独自の各種事業を4月30日の緊急会議並びに定例会議初日の6月1日に先議にて議決されましたのでその概要をご報告致します。

4月30日緊急会議の報告

新型コロナウイルスに関する5議案を審議するため、緊急会議が開催されました。

1、一般会計補正予算は、総額294億6千4百万円余を追加するものであり、歳出については新型コロナウイルス感染症関連予算として議決されたものは次の通りです。

- ・特別定額給付金給付事業費282億9千万円
(家計へ支援のため1人当たり10万円を給付)
- ・放課後児童健全育成事業費1億4776万円
(放課後児童クラブに対する運営経費の支援等)
- ・保育施設等感染症防止対策支援事業費7880万4千円
(保育施設等に対し衛生用品等の配布、購入経費の補助)
- ・子育て世代臨時特別給付金給付事業費3億7260万円
(児童手当を受給する世帯に対し1万円を支給)
- ・新型コロナウイルス感染症対策事業費2億3383万円
(患者受入医療機関特別給付金、PCR検査専門外来支援事業等)
- ・PCR検査事業費5520万円
(保健所、衛生課・健康推進課分)
- ・飲食店営業継続支援事業費1億7520万円
(テナント賃料等の固定経費を支援するもの)

2、福島市条例制定議案4件

- ・福島市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者に対する国民健康保険税の減免に関する条例制定
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者に対する介護保険料の減免に関する条例制定
- ・福島市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定

6月1日の先議分報告

6月定例会議において初日に緊急を要する議案を先に審議を行い議決されたものは次の通りです。

- 1、新型コロナウイルス感染症対策関連補正予算の主な事業費(抜粋)

- ◎事業費合計 40億430万5千円(いずれも市独自事業)
- ・ふくしま市民生活エールクーポン 37億4千万円
(市民生活支援と市内商店にて使用により地域経済の回復)
- ・学生の臨時就労機会の創出 1230万円
(困窮している学生を対象に市で就労機会を創出)
- ・認可外保育施設利用者の支援 1498万8千円
(登園自粛した利用者に対し利用料を補助)
- ・国給付金対象未満の事業者等への支援 1億2895万7千円
(売上高50%未満減少の事業者に給付金交付、また、自家源泉等を有する温泉旅館へ、温泉施設維持管理経費を支援)
- ・公共交通事業者への支援 1626万円
(タクシー事業者や貸切バス等事業者へ1台当たり3万円支援)
- ・イベント開催等を通じた賑わいの回復 2250万円
(商店街で開催するイベントに対する補助率を嵩上げし支援)
- ・新しい生活様式に対応したビジネスモデル創出への支援 5300万円
(電子決済やネット販売への参入など、ICTの活用等による新たなビジネスモデルを創出する中小企業者へ支援)
- 2、市長等及び市議会議員の6月期の期末手当を減額する条例制定の件

! 給付金を装った詐欺にご注意ください

TEL 535-1111
FAX 533-7614

E-mail ▶ host@fk-shinseikai.org

発行責任者 ▶ 半沢 正典
編集責任 ▶ 政務調査会

福島市 新型コロナウイルスに関わる支援について

個人

1. 特別給付金の早期支給

- 特別定額給付金(1人10万円の給付金)
 - ・令和2年4月27日時点で福島市に住民登録がある方
 - 【郵送】申請期間:5/14(木)~8/13(木)、支給日:5/20(水)以降随時
 - 【オンライン】申請期間:5/1(金)~8/13(木)、支給日:5/13(水)以降随時
 - ・問合せ先:生活福祉課 024(572)5830
- 子育て世帯臨時特別給付金
 - ・児童手当を受給する世帯に対して対象児童1人あたり1万円を上乗せして給付
 - ・問合せ先:こども政策課 024(525)3767

2. 困窮者支援

- 市営住宅の入居支援
 - ・会社の解雇や離職等やむを得ない理由により住宅の退去を余儀なくされた市民を対象(20戸予定、無償、原則3か月・1年間限度)
 - ・問合せ先:住宅政策課 024(525)3757
- 内定取消学生等に対する就職支援
 - ・内定取消、失業等となった市民を市の会計年度任用職員として採用
 - ・問合せ先:人事課 024(525)3703
 - 産業雇用政策課 024(515)7746
- 住居確保給付金
 - ・4月20日以降離職等により収入が減少し住居を失うおそれが生じている方々に、一定期間家賃相当額を支給※収入要件・資産要件・求職活動等要件あり
 - ・問合せ先:生活福祉課 024(525)3725

3. 市税等の徴収猶予

- 市税・国保税
 - ・原則1年以内の期間に限り猶予
 - ・問合せ先:納税課 024(525)3736
- 水道料金
 - ・一時的にお支払いが困難な事情がある方に対し、最大4か月の猶予
 - ・問合せ先:水道料金お客さまセンター 024(526)0735
- 下水道使用料・農業集落排水施設使用料
 - ・一時的にお支払いが困難な事情がある方に対し、最大4か月の猶予
 - ・問合せ先:下水道総務課 024(525)3789
- 介護保険料
 - ・申請により該当する場合は、1年以内の期間に限り猶予
 - ・問合せ先:長寿福祉課 024(525)6551
- 後期高齢者医療保険料
 - ・申請により該当する場合は、福島県後期高齢者医療広域連合長が認めた期間に限り猶予
 - ・問合せ先:国保年金課 024(525)3724

4. 国保税等の減免等

- 国保税の減免
 - ・主たる生計維持者が死亡し、又は重篤な疾病を負った世帯や、主たる生計維持者の事業収入等の3/10以上の減少が見込まれる世帯(所得制限あり)
 - ・問合せ先:国保年金課 024(525)3735
- 介護保険料の減免
 - ・主たる生計維持者が死亡し、又は重篤な疾病を負った世帯に属する第1号被保険者や、主たる生計維持者の事業収入等の3/10以上の減少が見込まれる世帯に属する第1号被保険者
 - ・問合せ先:長寿福祉課 024(525)6551
- 傷病手当金の支給
 - ・国民健康保険や後期高齢者医療制度に加入していて、療養のために休業等した期間、給料の全部又は一部が支給されない被用者等に対して傷病手当金を支給
 - ・問合せ先:国保年金課 国民健康保険 024(525)3773 後期高齢者医療制度 024(525)3724
- 保育料の減額
 - ・市の要請により家庭での保育に協力いただいた場合に、保育料を日割り計算により減額
 - ・問合せ先:幼稚園・保育課 024(525)3750

5. 困窮者に対する主な社会福祉協議会の支援

- 緊急小口資金
 - ・休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった方へ上限10万円の貸付 据置期間:1年以内 償還期限:2年以内 利子・保証人:無利子:不要
 - ・問合せ先:福島市社会福祉協議会 024(533)8877
- 総合支援資金(生活支援費)
 - ・失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている方へ生活費用の貸付 上限額:(単身)15万円以内(2人以上)20万円以内 貸付期間:3か月以内 据置期間:1年以内 償還期限:10年以上 利子・保証人:無利子:不要
 - ・問合せ先:福島市社会福祉協議会 024(533)8877

事業主

- 売り上げが減少している飲食店への支援
 - ・問合せ先:産業雇用政策課 024(515)7746
 - 観光コンベンション推進室 024(525)3722
- 売り上げが減少している特産品事業者、農産物生産者への支援
 - ・問合せ先:観光コンベンション推進室 024(572)5718
 - 農業振興課 024(529)7663
- 資金繰り不安への支援
 - ・問合せ先:商工業振興課 024(525)3720
- 売り上げが減少している旅館業への支援
 - ・問合せ先:観光コンベンション推進室 024(572)5717
 - 水道料金の減免:水道局水道総務課 024(535)1117
- 販売が減少している市場内事業者への支援
 - ・問合せ先:市場管理課 024(553)1213
- ピンチをチャンスにプロジェクト 収束後を見越し、集客力向上に向けての支援
 - ・問合せ先:観光コンベンション推進室024(572)5717
 - 商工業振興課 024(525)3720
- 固定資産税等の減免
 - ・問合せ先:資産税課 024(525)3730

子ども・妊婦

- 子ども等支援
 - ・マスク・消毒液を小・中学校、幼稚園、保育所等に配布
 - ・問合せ先:学校教育課 024(525)3782
 - 幼稚園・保育課 024(572)3418
 - こども政策課 024(525)3767
- 保育施設、放課後児童クラブ等における衛生用品等の購入経費を補助
 - ・問合せ先:幼稚園・保育課 024(572)3122
 - こども政策課 024(525)3767
- 地域でマスクを作って、学校応援プロジェクト
 - ・問合せ先:中央学習センター 024(534)6631
- 母子生活支援施設の感染症対策に係る改修費用の補助
 - ・問合せ先:こども家庭課 024(525)3780
- 妊婦へのマスク配布
 - ・問合せ先:こども家庭課 024(525)7671
- 妊婦相談窓口
 - ・問合せ先:こども家庭課 024(525)7671

一般相談(コールセンター)

TEL 0120-567-177 平日:8時30分~21時00分
 FAX 024-525-5701 土日祝日:8時30分~17時15分

帰国者・接触者相談センター

TEL 0120-567-747 24時間(土日・祝日対応)
 FAX 024-525-5701

二階堂 利枝 政調会副会長  上野寺字道上13-3 TEL: 535-6719	石山 波恵 政調会副会長  置賜町8-18-402 TEL: 526-0852	萩原 太郎 政調会長  山口字下屋敷28-2 TEL: 535-4693	大平 洋人 総務会長  八島田字東本庄町4-27 TEL: 559-2043	白川 敏明 幹事長  飯坂町字中原36 TEL: 542-4041	小松 良行 副会長(政調会担当)  瀬上町字東町2-6-10 TEL: 553-0647	黒沢 仁 顧問(総務会担当)  飯野町大久保字谷津44 TEL: 562-3582	渡辺 敏彦 顧問(幹事会担当)  松川町字青麻山3 TEL: 567-2660	半沢 正典 会長  上島渡字寺北28-3 TEL: 593-5256
---	---	--	--	--	--	---	---	--

領収書等添付用紙

No. (18-1)

領 収 書

No. 040151

令和 2 年 7 月 20 日

福島市議会真政会 様

¥ 176,000

上記の金額正に受領いたしました。



株式会社

第 一 電 機

代表取締役社長 幸

本社・工場 福島市阿武隈字古野 1-1-1 (福島工業団地内)
TEL (024) 536-6100 (024) 536-6100

福島市議会真政会報	一式				1600.00	現金 小切手 振込 相殺 手形 期日 令和 年 月 日
版下作成費						
消費税					16000	担当印
合計					176000	

担当印のないものは無効です

領収書等添付用紙

No. (18-2)

請求書

2020年 7 月 17 日

福島市議会真政会

様

代表 幸治
 本社・工場 福島市 幸治印刷
 TEL 024-5311820
 FAX 024-536-6100
 業国地内 7960-8201

品 番 品 名 数 量 単 価 金 額

1 20	福島市議会真政会報				0
1-01-017-00-11	版下制作費 4P	式	1		160,000
伝票No 115927 9350	摘要	[小計]	160,000	[消費税等]	16,000
		合計			176,000

該当するものに○ (または✓) を表示します

19-1

振込金受取書 (兼手数料受取書)

預金払戻請求書・預金口座振替による振込受付書 (兼手数料受取書)

ご指定日
2年7月20日

お振込先	金融機関名(漢字)を左づめでご記入ください(東邦銀行の場合記入不要)	支店名(漢字)を左づめでご記入ください	銀行	支店
	東邦銀行あての振込 <input checked="" type="checkbox"/> 東邦銀行	銀行以外の場合は○をお付けください。 信金 <input type="checkbox"/> 信組 <input type="checkbox"/> 農協 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>		
お預金種目	該当項目に○をお付けください 1.当座 2.普通 4.貯蓄 9.その他	左づめでご記入ください	金額	十 億 千 万 百 万 十 万 万 千 百 十 円
	<input type="checkbox"/> 口座振替			¥ 79,508,000

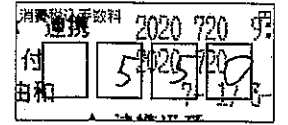
受取カタカナ	ヨウコウシャインサツカブシキカイ
カタカナ	シヤ

おなまえ(漢字)
 陽光社印刷株式会社 様

受取カタカナ	シンセイカイケイリヤキニシヤハキ
カタカナ	ハラウロ

おなまえ(漢字)
 真政会 経理責任者 萩原太郎 様

おところ	日中ご連絡可能なお電話番号
福島市五光町3-1	



○振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のために振込が遅延することがあります。
 ○やむを得ない事由による通信機器、回線の障害等によって振込が遅延することもありますので、ご了承ください。

株式会社 東邦銀行



当行をご利用いただきましてありがとうございます

領 収 書 等 添 付 用 紙

No. (19-2)

請 求 書

2020年 7月 17日

No00031527



陽光 株式会社

代表取締役 代表取締役
 本社 / 福島県福島市
 TEL 024-233-8000 FAX 024-233-8003
 東京連絡所 / 東京都港区
 TEL 03-3352-7678

福島市議会真政会 様

(150109-00)

毎度ありがとうございます。下記の通りご請求申し上げます。

No.	品 名	数 量	単 位	単 価	金 額	消 費 税 等	摘 要
20070183	真政会報vol. 62	69,000	部	6.5	448,500	44,850	
20070183	折込料	68,700	部	4	274,800	27,480	
					税抜金額計	消費税等計	合計額
					723,300	72,330	795,630

担当:



税抜金額計	消費税等計	合計額
723,300	72,330	795,630

Vol.062

福島市議会真政会報
— 令和2年7月 —

真政会報

真政会綱領

私たちは地方自治の信念に則り行政に対する監視と提言を怠ることなく、常に市民と行政のパイプ役として「市民」「議会」そして「市当局」との三位一体を旨とし、市民福祉の向上と地域の振興・発展、真の市政伸展に邁進することを誓う！



会長挨拶



半沢 正典

6月定例会議は6月12日に閉会しましたが、同月25日にも緊急会議が開催され、国の二次補正を受けて新型コロナウイルス対策関連予算などについて審議致しました。この未知のウイルスとの闘いは、到底市単独で立ち向かうことは叶わず、国・県・市が従来以上に連携を強化しました。

互いの役割をしっかりと果たすことが重要になります。市としては生活者に一番近い行政として地域の実情を正確に把握し、市でやるべき事を捉まえて国県に要望することを促すことが必要です。つき行動に移さなければなりません。そのような観点から今後影響が懸念される農業の現状を調査し対策を探るためまず果樹農家を視察しました。また、各界各層から当会派に寄せられている意見・要望をまとめ国に対しては亀岡文科副大臣へ、県に対しては福島市選出の自民党議員へそれぞれ提出し併せて今後の連携を確認しました(後掲)。

6月定例会議の報告

6月定例会議は、1日から12日までの12日間で開催された。5億3198万円の一般会計補正予算や、市議会の政務活動費の減額に関する条例改正の件など29議案を審議した。市長からは、新型コロナウイルスに関する3本柱①感染防止対策②市民生活支援③地域経済対策についての施策が提示された。また、感染拡大防止のため、東京2020大会をはじめ、多くのイベントが中止や延期とされたが、その対策として緊急支援第4

弾を活用するとともに、「エール」を活用した地域経済の回復・活性化を図るとの考えが示された。緊急事態宣言の中で活動自粛に協力された市民・事業者の皆様さらに保健・医療関係者、市民生活を支えていただいた皆様に感謝の意を表された。しかし、気を緩めることなく長期戦となる覚悟をもって「新しい生活様式」の定着を図りながら感染防止と社会経済活動に取り組むことを表明した。

TEL 535-1111
FAX 533-7614

E-mail ▶ host@fk-shinseikai.org

発行責任者 ▶ 半沢 正典
編集責任 ▶ 政務調査会

各常任委員会の報告

常任委員会は、少人数で専門的に審議をつくすために設置される委員会で、それぞれが所管する事務の調査、議案、請願、陳情の審査などを行います。福島市議会基本条例に基づきさらに頑張っています。
なお、【 】内は当会派のそれぞれの所属議員名です。

総務

(定数9人)

【白川敏明・大平洋人】

【総務部】

福島市公告式条例の一部を改正する件は、福島市の事務の効率化を図るため、現在支所等に19か所ある告示・公告文書掲示を市役所1か所にする事で、掲示板に表示するまで決裁から公示までに3日間要したものが、翌日公示が可能になり市民への情報提供の迅速化と市のホームページも活用し、より広く情報提供が行える。

【消防本部】

非常備消防管理費、非常備消防自動車整備費の予算補正について

現在、市消防団3分団に配備される災害救助用のゴムボート等を、高まる水害被害対策ニーズに合わせ7分団に拡大して、12人乗り7艇に救命胴衣84着を更新および新規に配備する。さらに台風19号の水防活動において走行不能となった消防ポンプ自動車3台が修理不能となり、活動に支障をきたすことから新規購入する。



災害救助用のゴムボート

今回の主な補正予算

- 消防団救助能力向上資機材緊急整備事業 2,160千円
- 非常備消防自動車整備事業 52,605千円

経済民生

(定数9人)

【石山波恵・小松良行】

【商工観光部】

企業立地促進条例による奨励措置の適用を決定した企業に対し、用地取得助成金、雇用奨励助成金及びオフィス等賃貸助成金3081万9千円、福島おごそうインター工業団地(D地区)の財産処分6728万4千円の補正予算及び地域振興施設道の駅を設置するための条例制定案を審議、採択した。

【市民・文化スポーツ部】

令和元年台風第19号関連災害による被災者に対する国民健康保険税の減免に関する条例を一部改正し(98世帯、

375万6千円)減免適用期間を延長する。また、国民健康保険補正予算は、執行見込みにより国民健康保険事業給付金7199万2千円を追加し、歳入においては国・県支出金2267万1千円を追加するとともに国民健康保険税1047万1千円を減額し、差し引き5979万2千円は繰越金を充当する。



医大TRセンター

今回の主な補正予算

- 工業団地用地取得助成金 24,519千円(予定額)
- オフィス等賃貸助成金 6,000千円(1年目予定額)

文教福祉

(定数8人)

【二階堂利枝・萩原太郎・半沢正典】

【教育委員会】

ICT教育フューチャービジョン推進事業において小学1年生から中学3年生まで1人1台のタブレット型端末導入の計画を2カ年前倒しして今年度で整備し、学校教育におけるICT環境の整備を強力に進める。また、災害や感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急時においてもICTを活用した学びができる環境の実現に取り組む。

【子ども未来部】

子育て支援に関する基準の一部を改正する省令、内閣府令の施行に伴い福島市家

庭的保育等の設備及び運営に関する基準を定める条例改正など3件を審議、採択した。

【健康福祉部】

受動喫煙による市民等の健康への悪影響を未然に防止し、市民等の健康増進を図ることを目的に「福島市受動喫煙防止条例」が、制定された。



福島駅東口ツイン広場喫煙所

今回の主な補正予算

- ICTフューチャービジョン推進事業費 92,534千円
- 受動喫煙対策事業費 3,105千円

建設水道

(定数8人)

【黒沢仁・渡辺敏彦】

【環境部】
台風19号関連の解体処理費は当初50件、50棟の計画であったが、55件、71棟となったため、追加の補正予算を計上した。また、概算全体事業費、約63億円の予算で立子山地区に建設中の一般廃棄物新最終処分場は、現在、本体工事、浸水処理施設建設工事に入り、令和3年度中の完成に向け進んでいる。

【都市政策部】

下水道や道路側溝・水路等の排水施設の能力を超える短時間の強雨が頻繁に起こり、浸水被害がたびたび発

生していることから、内水ハザードマップを作成し9月号の「市政だより」と共に配布する。

【建設部】

道路維持補修センター所有の除雪グレーダー3台のうち1台は取得後29年が経過し、部品の供給期限が経過していることから、新たに取得した。



除雪グレーダーイメージ図

今回の主な補正予算

- 台風19号関連解体処理費追加 17,000千円
- 除雪グレーダー取得費 30,250千円

6月25日緊急会議報告

今回の緊急会議は、新型コロナウイルス関連緊急支援策と古閑裕而記念館駐車場整備費の合わせて8億3413万2千円の一般会計補正予算と、福島赤十字病院駐車場を古閑裕而記念館駐車場用地として財産取得する議案の2件が審議された。

新型コロナウイルス関連緊急支援策(第5弾)

- 1 感染防止対策
 - ① 保育施設・幼稚園へのICT導入 事業費…4683万円
 - ② 市有施設の新しい生活様式への対応 事業費…2465万3千円
- 2 市民生活支援
 - ① 妊婦のPCR検査支援 事業費…4500万円
 - ② オンライン保健相談会の実施 事業費…102万2千円
 - ③ ひとり親世帯臨時特別給付金の早期給付 事業費…3億853万3千円
 - ④ 住居確保給付金の追加 事業費…5600万円
- 3 地域経済対策
 - ① リノベーション費用補助 事業費…5000万円
 - ② 店舗家賃補助 事業費…4000万円
 - ③ 制度融資資金信用保証料補助・利子補給 事業費…2億1904万4千円
 - ④ ふくしまに「こらんしょ」キャンペーン 事業費…3600万円

亀岡偉民文部科学副大臣との懇談会開催

6月23日

内閣の一員として最前線で新型コロナウイルスの対応に当たっている亀岡偉民文部科学副大臣が、国会が閉会し移動の自粛制限が解除されたことから3か月ぶりに帰福した際に、懇談会を開催することができた。国の31兆円余もの2次補正予算の詳細や国と連携した福島県立医科大学での新型コロナウイルス対策の研究開発等の最新情報などが資料を通して示された。真政会からは、本市の医療体制や経済・生活状況など現状の説明と要望を行った。また、今後より一層の国との連携強化を要請した。



福島市選出自民党県議会議員との懇談会開催

6月15日

新型コロナウイルス感染症対策については、国・県・市が連携し、スピード感をもって対応していかねばならない。そこで、当会派市議が市民から様々な意見要望を受けている中で、県に対して求める支援等を含め、意見交換を行った。本市が中核市となったことにより、保健所が設置され、その機能を発揮して感染症対策に努めているが、連携・支援が必要なこと。また、収束後の地域経済活動の回復に向け、実効性のある対策や、財政措置を行うことを要望した。



福島市内観光果樹園視察

6月15日

新型コロナウイルスによる影響が各方面に及んでいるが、最盛期を迎えたサクランボ農家を視察し、改めて深刻な影響を伺った。今年度は、団体客の予約は全てキャンセルとなり家族連れも少ないうえに、感染防止のため手袋や手指の消毒等に係る経費を要している。市内の温泉地に訪れる観光客も少ないため、関連する業種にも影響を及ぼす現状も認識し、県・市の対策強化を含め、政策に反映していく。最後に、気持ちを切り替え次の桃に期待するという園主にエールを送りたい。



新庁舎西棟建設調査特別委員会報告

新庁舎西棟は今年度に基本計画と基本設計が行われるため、本年3月に委員会報告を行った内容を盛り込み、概要案が提示された。市民会館、敬老センター、中央学習センターの3施設と前計画を統合・複合化しながらも、前計画と同様の5階建てに集約でき、単独の建替えに比べ、大幅なコストダウンが図られる。さらに、防災機能の強化や、周辺エリアの指定避難所とし、令和4年度の着工を目指し2年間の工事期間が見込まれる。



6月定例会議一般質問(抜粋)

今回の一般質問では、当会派からは二階堂利枝議員、石山波恵議員の2名が質問に立ち、市政全般の諸課題を質しました。

Q 本市の最大の資源である自然環境を守る観点から森林を伐採し、太陽光パネルや風力発電を設置されることについて市の見解を伺う。

A 本市の豊かな自然や魅力ある景観は、市民にとってかけがえのない財産であり、次世代に守り継ぐべき宝である。一方、本市の特性にあった太陽光発電を含む再生可能エネルギーの導入も、地球温暖化防止や環境負荷の少ない低炭素循環型社会の構築を進めるため今後も積極的に進めていく必要があることから、事業者に対しては市ガイドラインに基づき、自然など周辺環境の保全、調和を図りながら、適切に事業を行うよう強く求めている。



豊かな自然景観

Q 新型コロナウイルス対応型の災害時避難所に、ペット同伴、同行避難について対応策を課題も含め伺う。

A 災害発生時のペットの同行避難については、環境省が定める「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」でも同行避難が基本とされており、本市でも、指定避難所への同行避難は可能としている。しかし、避難所においては、動物の苦手な方やアレルギーのある方など配慮が必要となることから、現状では、ペットは軒先などの屋外で飼育せざるを得ない状況となっている。今後、避難者が安心してペットと同行避難できるように、飼い主の方の協力による管理・飼育方法など一定のルールと避難所のあり方を検討していく。

Q 古閑裕而氏を取り入れたコンテンツ動画を作成し本市の観光と、交流人口の増加に繋げるべきと考えるが見解を伺う。

A 古閑裕而記念館や「エール」のロケ地など本市の魅力を紹介する映像とともに移動自粛を余儀なくされていた皆様に「お帰りなさい」「お待ちしております」の気持ち



古閑裕而ストリートのシャッター状況

ちを込めた動画を作成する。今後、朝ドラ「エール」を追い風に「古閑裕而のまち福島」の魅力を発信し、段階的な観光誘客を進め交流人口の拡大に努める。

Q 古閑裕而ストリートには空き店舗が目立ちシャッターが下りているが、中心市街地活性化の観点からも、具体的な対策を伺う。

A 街なかの賑わいを取り戻すには、空き店舗の活用は重要であると認識しており引き続き、家賃補助や、リノベーション補助の活用等により若者に魅力ある店舗の誘導を進めることで、空き店舗の解消を図り、まちの賑わいを作る。

編集後記

はつひめ、日川白鳳、暁星、あかつき、まどか、川中島白桃、ゆうぞら、さくら白桃など待望の桃のシーズンが始まりました。次は、幸水、豊水、二十世紀、あきづき、南水、新高、王秋、ラ・フランス等々の和梨や洋梨と続きます。皆さんは何種類食べ

たことがありますか。福島市の果物は美味しく世界一と言って良い程に種類もそして品種も豊富です。今年には全品種を食べ尽くすと想像するだけで、ほっぺが落ちそうになりますね。



黒沢 仁 顧問(総務会担当) 建設水道常任委員 議会運営委員 飯野町大久保字谷津44 TEL: 562-3582

渡辺 敏彦 顧問(幹事会担当) 建設水道常任委員 監査委員 松川町字青麻山3 TEL: 567-2660

半沢 正典 会長 文教福祉常任委員 上島渡字寺北28-3 TEL: 593-5256

大平 洋人 総務会長 総務常任委員 八島田字東本庄町4-27 TEL: 559-2043

白川 敏明 幹事長 総務常任委員長 飯坂町字中原36 TEL: 542-4041

小松 良行 副会長(政調会担当) 経済民生常任委員 議会運営委員 新庁舎西棟建設調査特別委員 瀬上町字東町2-6-10 TEL: 553-0647

二階堂 利枝 政調会副会長 文教福祉常任委員 新庁舎西棟建設調査特別委員 上野寺字道上13-3 TEL: 535-6719

石山 波恵 政調会副会長 経済民生常任委員 議会運営委員 置賜町8-18-402 TEL: 526-0852

萩原 太郎 政調会長 文教福祉常任委員 新庁舎西棟建設調査特別委員 山口字下屋敷28-2 TEL: 535-4693

領 収 書 等 添 付 用 紙

No. (32- /)

領 収 書

No. 040504

令和 2 年 10 月 16 日

福島市議会真政会 様

¥ 994,015

上記の金額正に受領いたしました。



株式会社 第一信託

代表取締役 幸

本社・工場 福島市阿字古町(福島工業団地内)
TEL (024) 536-6100 (024) 536-6100



福島市議会真政会報	69,000	6.65	45,885.0	現金 小切手 振込 相殺 手形 期日 令和 年 月 日
版下作成費	1式		17,000.0	
折込	68,700	4	2,748.00	
消 費 税			9,036.5	担当印
合 計			79,940.15	

担当印のないものは無効です

領 収 書 等 添 付 用 紙

No. (32-2)

請 求 書

2020 年 10 月 9 日

福島市議会真政会

様

代表 株式会社 幸治
 福島市 幸治印刷
 TEL 024-536-6100
 FAX 024-536-6100

品番	品名	数	単価	金額
1 01-008-00-1	福島市議会真政会報	枚	69,000	6.65
1 99-99-999	版下(作成費)	枚	170,000	170,000
1 99-99-999	折込日(令和2年10月11日)	枚	68,700	4.274,800
1 10	(民報・民友)福島市内			0
伝No 116932 9350	摘要	[1. 計]	903,850 [消費税等]	90,365
	合計			994,015

Vol.063

福島市議会真政会報
— 令和2年10月 —

真政会報

真政会綱領

私たちは地方自治の信念に則り行政に対する監視と提言を怠ることなく、常に市民と行政のパイプ役として「市民」「議会」そして「市当局」との三位一体を旨とし、市民福祉の向上と地域の振興・発展、真の市政伸展に邁進することを誓う！



福島駅西口に完成した大庇とオーロラビジョン

福島市議会 真政会 presents

第8回 市民の皆さんとの意見交換会

開催日時 令和2年 **11月4日** 水
午後2時～3時

開催会場 **市民会館第2ホール**
(福島市霞町1-52 2階)

- 第1部 市政の報告
「福島市の新型コロナウイルス感染症の現状と対策」
～リラックスタイム～
「石山波恵議員のいつでも・どこでも・だれでもできる簡単体操」
- 第2部 意見交換会
「市政に関する意見・要望」

福島市は新型コロナに関するほか、台風19号の災害復旧など、さまざまな課題を抱えております。皆様から広くご意見をお寄せいただき市政に生かしてまいります。申込・ご予約は不要ですが、マスクの着用をお願いいたします。なお、新型コロナ感染症の状況により、中止になる場合があります。

会長挨拶



半沢 正典

新型コロナウイルスは、未だ収束の兆しも見えずまた、ワクチン開発の時期についても明確にはなっておりません。そんな中、感染防止の対策を講じながら経済活動の両立を図ら

なければなりません。本市も新型コロナウイルス関連緊急支援を3つの柱に分け7月末の第五弾まで矢継ぎ早に対策を取って参りました。そして9月定例会議にて審議した第六弾には新たな第4の柱として「新しい生活様式」に対応した社会の形成が加わりました。今後、ウィズコロナを念頭に新しい市民生活を模索する一環として「市民の皆さんとの意見交換会」を開催致します。

TEL 535-1111
FAX 533-7614

E-mail ▶ host@fk-shinseikai.org

発行責任者 ▶ 半沢 正典
編集責任 ▶ 政務調査会

各常任委員会の報告

常任委員会は、少人数で専門的に審議をつくすために設置される委員会で、それぞれが所管する事務の調査、議案、請願、陳情の審査などを行います。福島市議会基本条例に基づきさらに頑張ってまいります。
なお、【 】内は当会派のそれぞれの所属議員名です。

総務 (定数9人) 【白川敏明・大平洋人】

【総務部】

福島市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定の件は、新型コロナウイルス流行による感染症に関連して、対応業務に従事する市職員へ特殊勤務手当(防疫作業手当)の特例を措置する事となった。

【政策調整部】

新型コロナウイルス感染症予防対策の観点から本庁内の全フロアへ公衆無線LANサービスの拡充し、本庁舎利用者の利便性向上を図り、各フロアで会議、面談等オンラインでできる基盤を整備するとして提案され

可決した。

【消防本部】

福島消防署清水分署は、昭和51年3月に建築後44年が経過し老朽化が進み、防災拠点として十分な耐震性を有していないことから改築するため、

建築本体工事について一般競争入札により2億6840万円で請負契約を締結した。



福島消防署清水出張所の完成パース

今回の主な補正予算

● 庁舎Wi-Fi環境整備事業費	6,000千円
● 消防団消防ポンプ自動車3台	52,470千円

文教福祉 (定数8人) 【二階堂利枝・萩原太郎・半沢正典】

【健康福祉部】

定期予防接種の拡充として感染力が極めて高く、胃腸炎や下痢や発熱等を発症する感染症「ロタウイルス」について定期予防接種の対象に新たに追加し、保護者の自己負担軽減と重症化予防を支援する。(令和2年10月1日より開始。対象者は令和2年8月以降に出生した赤ちゃん)

【教育委員会】

新型コロナウイルス関連緊急支援策として今年度各学校で実施を予定している修学旅行等の校外活動について、中止(1週間前までの

判断)した場合に発生するキャンセル料等を市が負担する方針が示された。渡利学習センター整備事業費として現センター解体工事並びに外構工事を補正計上する。尚、新センターは本年11月仮オープン予定。



11月オープン予定の渡利学習センター

今回の主な補正予算

● 渡利学習センター整備事業費	91,085千円
● ロタウイルスワクチン予防接種事業費	25,418千円

経済民生 (定数9人) 【石山波恵・小松良行】

【農政部】

老朽化が進む四季の里において、工芸館の屋根改修及び入り口ドアのバリアフリー改修、工芸館内のガラス工房跡の改修に係る工事のため、3900万円が追加補正された。

【市民・文化スポーツ部】

デジタル手続法及び戸籍法の一部改正により、全国の市区町村の戸籍システムをネットにつなぎ、令和6年度には本籍地以外の自治体窓口でも戸籍抄本・戸籍謄本が取得できるようにするための戸籍システム等の改修に係る経費2500万円

が追加補正された。

【商工観光部】

福島市商店街共同施設設置等事業補助金の交付要綱に基づき、県庁通り商店街振興組合が事業主体として実施するアーケード改修費の補助として945万4千円を新たに計上した。アーケード総延長は新設約35mを含め約240mとなり、工期は、令和2年11月から令和3年3月の予定。



県庁通りアーケード改修イメージ

今回の主な補正予算

● 中央市民プール備品等	13,500千円
● 音楽堂空調設備改修事業費	2,100千円

建設水道 (定数8人) 【黒沢仁・渡辺敏彦】

【建設部】

パセオ通りは、経年劣化や埋設管工事により、ひび割れや段差が生じているため「パセオ通りの再生」を目的として、安全快適に過ごせる環境づくりのためバリアフリーを進めるとともに、イベントストリートとしても利用できるような賑わいのある魅力的な道路や快適な歩行空間にリニューアルする。さらに、回遊性の向上を図るため、取り外し可能なポールの設置や低木の撤去等により舗装修繕工事を実施する。

地の活性化を図るとともに、避難場所等の防災機能を目的に整備する。また、パセオ駐輪場について、駐輪場の更新及びトイレと防災倉庫を設置し有効に活用する。駐輪場を含む工事は令和4年度中のオープンを目指す。

【都市政策部】
まちなか広場は、中心市街



新まちなか広場整備事業

今回の主な補正予算

● 舗装道路維持修繕費(パセオ通り)	145,000千円
● 新まちなか広場整備事業費	27,000千円

令和2年9月市議会定例会議報告

9月1日に開会された定例会議は18日の閉会まで新型コロナウイルス関連緊急支援策第六弾1億1435万2千円ほか、中心市街地リニューール、企業立地促進、定期予防接種の拡大など、7億1176万1千円の補正予算等29議案と令和元年度決算4議案の審議を行った。初日には、「道の駅ふくしま(仮称)」の本体工事8億7千万円余及び電気設備工事1億8千万円余の契約に関し、先議を行い可決した。

令和元年度決算委員会の報告

令和元年度各会計歳入歳出決算認定議案と水道事業会計決算認定議案等は、新庁舎西棟建設分科会ほか4つの分科会で各委員による質問を通して内容を調査し、賛成多数で可決した。また、継続して行っている事業の報告を受けた。決算特別委員会委員長には、当会派の小松良行議員が選任され審議を行った。



小松良行決算特別委員長

7月31日緊急会議報告

新型コロナウイルス関連 緊急支援策第5弾 (補正予算合計 5億3044万円)

- 第一の柱 感染防止対策
 - ・避難所21か所にサーマルカメラ設置費用など3事業…3億774万円
- 第二の柱 市民生活支援
 - ・赤ちゃん応援特別定額給付金の支給…1億8200万円
 - (令和2年4月28日から令和3年3月31日までに誕生した新生児に対し一人一律10万円支給)
- 第三の柱 地域経済対策
 - ・古閑裕而記念館にユニットハウス設置など2事業…4100万円

9月定例会議一般質問(抜粋)

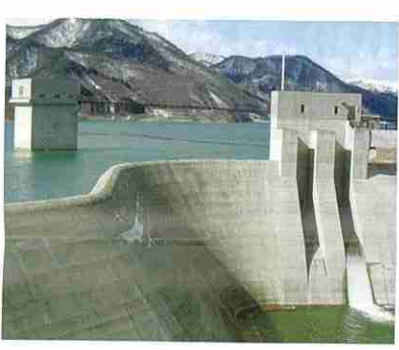
今回の一般質問では、当会派からは小松良行、白川敏明、二階堂利枝議員の3名が質問に立ち、市政全般の諸課題を質しました。

Q ひとり親世帯の貧困率は50.8%であり、離婚した父親から養育費を受け取っている割合は24.3%にとどまっている。本年4月に改正民事執行法が施行され、国は養育費の重要性に関する啓発に努めている。養育費の履行確保のための公的支援及び仙台市モデル養育費保証契約保証制度の導入に向けた検討状況について伺う。

A 本市では女性相談窓口において、離婚の際には合意書の作成や公正証書の作成を指導しており、必要に応じては公証人役場への同行など相談支援を行っている。取り組みの周知啓発を図ると共に、養育費保証契約保証制度については、導入した自治体での効果検証や保証会社の実態等を確認し検討する。

Q ひとり親世帯の貧困率を、定期的な連絡を取り合う体制にしている。さらにダム下流河川において、氾濫等重大な被害が想定される場合は、市長と摺上川ダム管理所長と直接連絡を取り合う体制としている。昨年の台風19号の大雨の時にも、飯坂の中心部の水位が上がりつつあるとの情報があったため、市長がダム管理所長と情報を交換した。

A 本市では女性相談窓口において、離婚の際には合意書の作成や公正証書の作成を指導しており、必要に応じては公証人役場への同行など相談支援を行っている。取り組みの周知啓発を図ると共に、養育費保証契約保証制度については、導入した自治体での効果検証や保証会社の実態等を確認し検討する。



摺上川ダム

Q 本年8月からふるさと納税のメニューに加わった動物との共生について主な用途を伺う。

A 今年度から新たに実施している「所有者のいない猫の不妊去勢手術費に対する助成」や「保健所で保護している犬や猫を新たな飼い主へ譲渡する事業」など、犬や猫の殺処分を減らすための財源として活用する。

Q 摺上川ダムは、大雨の際、事前放流等に関して、摺上川ダム管理所との情報交換等は行われているのか伺う。

A 大雨の際、ダムへの流入量が毎秒100m³を超えることが予測された時点から、ダムへの流入量、下流への放流量、貯水量の状況、水位予想等を、定期的な連絡を取り合う体制にしている。さらにダム下流河川において、氾濫等重大な被害が想定される場合は、市長と摺上川ダム管理所長と直接連絡を取り合う体制としている。昨年の台風19号の大雨の時にも、飯坂の中心部の水位が上がりつつあるとの情報があったため、市長がダム管理所長と情報を交換した。



保健所から引き取られ家族となった老犬

A 災害時要援護者の個別支援体制の実効性向上に向けた取組を伺う。

A 昨年の台風19号の浸水被害のあった3地区で説明会を開催し、災害時

日本ドライケミカル(株) 視察研修 8月3日

福島工業団地に位置する社屋は、平成28年に福島工場を新設稼働した総合防災企業であり、従業員は約160人在籍し、地元雇用を積極的にしている。社長の会社説明から、70mの消火実験棟を建設し、常に時代に先駆けた安全安心を追求し、何よりも代え難い命を守ることに徹した理念に共感した。意見交換では、新型コロナウイルスの影響等を伺うとともに、企業活動や市に対する要望を聴取した。福島から全国はもとより世界への安全発信を期待するとともに、要望等は今後の企業誘致の参考にしていく。



特殊車両を視察

研修報告

福島市手をつなぐ親の会との懇談会 8月12日

本年4月に「障がいのある人もない人も共にいきいきと暮らせる福島市づくり条例」が施行されたことから、本市の福祉行政について意見交換を行った。特に災害時の避難に対しては、自助努力に努めているが新型コロナウイルス感染を危惧しており、避難所について障がい者に寄り添った対応の要望があり、今後検証していく。尚、本市では「障がいのある方の災害対応てびき」を作成し配布している。



意見交換会の様子

研修報告

会派 新人議員施設研修

8月初旬、SFCももりんパーク、中央市民プール、小島の森、大波出張所、立子山自然の家、四季の里、土湯温泉観光交流センター「湯愛舞台」まちおこしセンター「湯楽座」、中之湯を視察し、各施設の現状を確認し課題の整理を行った。これからも視察を続け、利用者の立場に立った改善等を提案していく。



中央市民プールを視察

新庁舎西棟建設調査特別委員会報告

9月定例会に委員長報告を行った内容は次の通り。①議場床面は段差のないフラットな作りで、机、イスは可動式

②傍聴席は議長席の正面とし議場と区別し傾斜や段差を設ける③天井高等に配慮しながらもコストの縮減につながる設計とする④議長席を中心に議員席と当局席が左右対面となる配置とする。以上4点の他、採光や自然換気など有事を想定した視点も重要である。尚、委員会は最善の施設整備がなされるよう今後も継続して調査を続ける。

黒沢 仁 顧問(総務会担当) 建設水道常任委員 議会運営委員 ICT活用検討会委員 飯野町大久保字谷津44 TEL: 562-3582

渡辺 敏彦 顧問(幹事会担当) 建設水道常任委員 監査委員 松川町字青麻山3 TEL: 567-2660

半沢 正典 会長 文教福祉常任委員 決算特別委員合理事 上島渡字寺北28-3 TEL: 593-5256

大平 洋人 総務会長 総務常任委員 決算特別委員合理事 八島田字東本庄町4-27 TEL: 559-2043

白川 敏明 幹事長 総務常任委員 飯坂町字中原36 TEL: 542-4041

小松 良行 副会長(政調会担当) 経済民生常任委員 議会運営委員 新庁舎西棟建設調査特別委員合理事 決算特別委員合理事 瀨上町字東町2-6-10 TEL: 553-0647

二階堂 利枝 政調会副会長 文教福祉常任委員 新庁舎西棟建設調査特別委員合理事 決算特別委員合理事 上野寺字道上13-3 TEL: 535-6719

石山 波恵 政調会副会長 経済民生常任委員 議会運営委員 置賜町8-18-402 TEL: 526-0852

萩原 太郎 政調会長 文教福祉常任委員 新庁舎西棟建設調査特別委員合理事 山口字下屋敷28-2 TEL: 535-4693

令和2年秋季 議会報告会 意見交換会

議員が4班に分かれ、議会で行われた議案等の説明や意見交換会を今回は例年より短時間でいきます。

Table with 2 columns: 開催日 (Date) and 開会時間/会場 (Opening Time/Venue). Rows include dates 11/10, 11/11, 11/13, and 11/14 with corresponding times and venues like '吾妻学習センター' and '飯野学習センター'.

体温が37.5度以上の方、体調のすぐれない方の来場はご遠慮ください。また、マスクの着用をお願いいたします。尚、新型コロナウイルス感染症の状況により、中止になる場合があります。

領収書等添付用紙

No. (49-1)

領収書

No. 040592

令和 3 年 1 月 15 日

福島市議会真政会 様

¥ 154,000

上記の金額正に受領いたしました。



株式会社 第七信託


代表取締役社長 幸

本社・工場 福島市阿部町字吉原1丁目3番地02(福島工業団地内)
TEL (024) 536-5220(代表) (024) 536-6100



福島市議会 真政会報	4頁			140000	<input checked="" type="radio"/> 現金 <input type="radio"/> 小切手 <input type="radio"/> 振込 <input type="radio"/> 相殺 <input type="radio"/> 手形 <input type="radio"/> 期日 令和 年 月 日
消費税				14000	
合計			¥	154000	

担当印



担当印のないものは無効です

領 収 書 等 添 付 用 紙

No. (49-2)

請 求 書

2021年 1月 8日

福島市議会真政会

様

代表 **印刷** 幸 治
 本社・工場 福島市 印刷センター 幸治
 TEL 0241-531181 FAX 0241-536-6100
 印刷センター 幸治
 〒960-8201 福島市 印刷センター 幸治
 TEL 0241-531181 FAX 0241-536-6100

品 番	品 名	数 量	単 価	金 額
1 20	福島市議会 真政会報			・ 0
01-017-00-1	版下(作成費) 4B	4	35,000	140,000
伝No. 118377 9350	摘要	小計	140,000 [消費税等]	14,000
		合 計		154,000

該当するものに○(または✓)を表示します

振込金受取書(兼手数料受取書)

預金払戻請求書・預金口座振替による振込受付書(兼手数料受取書)

50-1

ご振込日 3年1月15日	
金融機関名(漢字)を左づめでご記入ください(東邦銀行の場合記入不要)	
銀行	
支店名(漢字)を左づめでご記入ください	
東邦銀行あての振込	
銀行以外の場合は○をお付けください。	
<input checked="" type="checkbox"/> 東邦銀行 <input type="checkbox"/> 信金 <input type="checkbox"/> 信組 <input type="checkbox"/> 農協 <input type="checkbox"/> その他	
ご記入にあたってのお願い <input checked="" type="checkbox"/> 太枠の中を黒ボールペンで強くご記入ください。 <input checked="" type="checkbox"/> 金額の先頭に¥マークをご記入ください。 <input checked="" type="checkbox"/> 濁点(・)、半濁点(゜)もマスを使用してご記入ください。	
預金種目 該当項目に○をお付けください 1.当座 2.普通 4.貯蓄 9.その他 <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	口座番号 左づめでご記入ください [Redacted]
カタカナ カフ シキカイシャアヘ シヨウ [Redacted]	金額 十 億 千 万 百 万 十 万 万 千 百 十 円 [Redacted] ¥ 806773
おなまえ(漢字) 株式会社 阿部紙工 様	
カタカナ フクシマシキカイシニセイカイ [Redacted]	
おなまえ(漢字) 福島市議会 真政会 様	
おところ 福島市五老内町3-1	日中ご連絡可能な電話番号 024-535-1111

消費税込手数料 円
[Redacted] 550

○振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のために振込が遅延することがあります。
 ○やむを得ない事由による通信機器、回線の障害等によって振込が遅延することもありますので、ご了承ください。

株式会社 東邦銀行

出納
3.1.15
東邦銀行
現金受取書
金額5万円以上の場合200円貼付
2.振込金受付書の場合不要
3.当店の本人口座への入金には200円貼付

当行をご利用いただきましてありがとうございます

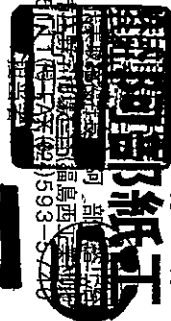
領 収 書 等 添 付 用 紙

No. (50-2)

請 求 書

ASP

〒980-2195 福島市
TEL (024) 593-5727
91110010



伝票No. 0169878
令和 03年 01月 08日

受注No	品名	数量	単価	金額	消費税	備考
I-0000137029	福島市議会真政会様 福島市議会真政会報	65,650枚	6.7	439,855		
I-0000137029	折込代(令和3年1月10日折込、福島市内 民報・民友)	65,350枚	4.5	294,075		
	税抜金額計			733,930		
	消費税額計			79,393		
	合計額			807,323		

上記の通り請求申し上げます。
摘要

※品名うしろの(FSC認証)は「FSCミツタスケラジ」の意です。■FSC認証番号:SGSHK-COC-005246 30 0337

Vol.064

福島市議会真政会報
— 令和3年1月 —

真政会報

真政会綱領

私たちは地方自治の信念に則り行政に対する監視と提言を怠ることなく、常に市民と行政のパイプ役として「市民」「議会」そして「市当局」との三位一体を旨とし、市民福祉の向上と地域の振興・発展、真の市政伸展に邁進することを誓う！



第8回 市民の皆さんとの意見交換会



本市の現状と対策について説明

11月4日に行なった市民会館での第8回の意見交換会には約40名の参加があった。検温、手指消毒、間隔を置いての座席にも注意して進行。テーマに基づき、緊急支援策第7弾までの施策と予算について説明を行った。

福島市の新型コロナウイルス感染症の現状と対策



市政に関する意見・要望を聴取

ひろく意見要望を伺うフリートークでは、福島市中心市街地再開発の課題や駅周辺の路上放置自転車問題、橋上の電灯改修等や街路樹の通行上の安全対策、街路樹種の変更など様々で活発な意見交換会となった。

市政に関する意見・要望を聴取



座ったままで楽しく体を動かした

最後に、リフレッシュするとともに、楽しく運動不足を解消するため「エール」の曲に合わせて、手足を動かした。笑いを取り入れての解説も好評で、次回も参加したいとの声が多かった。

石山議員のいつでもどこでも・だれでもできる簡単体操



半沢 正典

会長挨拶

明けましておめでとう
ございます。
昨年は新型コロナウイルスの影響により市民生活、市内経済に大きな混乱を招き、そして未だ収

束の兆しがみえておりません。
本市においては、最も身近な行政として市民の健康管理はもとより、経済対策も国県等と連携を図りながらスピード感をもつてきめ細かな対策を今後も実施していかなければなりません。
また、今年3月には震災・原発事故から10年の節目を迎えます。私たちはあ

の災害から正しく恐れることの大切さと偏見や差別の愚かさを学びました。この教訓を活かし団結してコロナを克服すれば新たな総合計画で謳う「世界にエールをおくるまち ふくしま」の扉が開かれるものと信じております。
本年も会派一丸となり政策を磨いて参りますので宜しくお願い致します。

発行責任者 ▶ 半沢 正典
編集責任 ▶ 政務調査会

TEL 535-1111
FAX 533-7614

E-mail ▶ host@fk-shinseikai.org

各常任委員会の報告

常任委員会は、少人数で専門的に審議をつくすために設置される委員会で、それぞれが所管する事務の調査、議案、請願、陳情の審査などを行います。福島市議会基本条例に基づきさらに頑張っておりま

なお、【 】内は当会派のそれぞれの所属議員名です。

総務 (定数9人) 【白川敏明・大平洋人】

【総務部】 福島市部設置条例の一部を改正し、自然災害や新型コロナウイルス感染症対策などへの対応として、市長直轄の危機管理監を配置する。また、本市の諸課題の解決に向けた政策を実行するため、組織機構改正をする。いずれも令和3年4月1日付で実施する。

【財務部】 令和2年度地域振興施設「道の駅」整備事業外構工事の工事請負契約(5億1810万円)が入札にて決定した。



総務委員会での質疑

【消防本部】 急速充電設備を設置する際の位置構造及び管理に関する条例の制定基準について、火災予防上の必要な整備を行う。

今回の主な補正予算

- ふるさと納税促進事業費 67,881千円

文教福祉 (定数8人) 【二階堂利枝・萩原太郎・半沢正典】

【教育委員会】

オンライン家庭学習支援事業(新型コロナウイルス対策費)として、令和3年度新学期からスタートする、1人1台タブレット端末を活用した授業に備え、家庭内で使用できるインターネット契約をしていない児童生徒の保護者に対し、接続契約をする際に生じる初期費用を本市独自に支援し、家庭でのインターネット環境(Wi-Fi)整備を促す。(世帯年収400万円以下の世帯対象)



縦横5cm長い新規格の机

等保育士等として従事しようとする者に対し、無利子で奨学資金を貸し付ける保育士等奨学資金貸付事業費について利用者の増加が見込まれることから、奨学基本金と入学一時金の経費が追加補正された。

今回の主な補正予算

- オンライン家庭学習支援事業費 80,000千円
- 保育士等奨学資金貸付事業費 11,940千円

経済民生 (定数9人) 【石山波恵・小松良行】

【農政部】 鳥獣被害対策強化事業費は、イノシシの捕獲頭数が予想を上回っていることから狩猟捕獲に対する助成費150頭分345万円の追加補正を採択し、農産物への被害対策を強化する。

【商工観光部】

土湯温泉まちおこしセンター及び土湯温泉観光交流センターの指定管理者決定に伴い、債務負担行為設定額3カ年計9919万円、福島市地域振興道の駅についても指定管理者が決定したこと、付属する屋内こども遊び場の管理運営費債務負担行為設定額10カ年

計2億8300万円余について採択した。

【市民・文化スポーツ部】

令和3年4月にリニューアルオープンする福島市古関裕而記念館の施設運営適正化を図るため、入館料を一般300円、小・中学生1000円の規定及び福島市写真美術館の真美術館の一例の部改正や入館料等条例制定案を賛成多数で承認した。



福島市写真美術館

今回の主な補正予算

- 企業立地促進事業費 111,404千円
- 福島市民家園管理費追加 30,000千円

建設水道 (定数8人) 【黒沢仁・渡辺敏彦】

【都市政策部】

新型コロナウイルス感染症拡大のものと利用者減少により公共交通事業者は厳しい状況に置かれており、その対策として、平常の定時定路線運行を実施する事業者に対し支援を行う。尚、換気、空気清浄等の機器の導入にも支援すべきとの提言をした。

【環境部】

生活系ゴミの約20%を占める紙類の削減のため令和3年4月より「雑がみ」の分別収集を開始し、ゴミの減量化・資源化を促進する。詳細は今後周知広報を行う。

【建設部】

市で管理する準用河川、普

通河川の110河川中40河川について土砂浚渫・伐木等を令和6年度まで計画的に行い、今予算では、11河川が対象となる。また、集中豪雨等緊急対策として、機動性の高い軽量ポンプ10台を導入し、迅速かつ確実な内水排除作業により浸水被害の軽減を図る。



搬出された仮置き場視察

今回の主な補正予算

- 地域公共交通支援事業 170,923千円
- 集中豪雨等緊急対策事業 50,000千円

令和2年12月市議会定例会議報告

12月定例会議は、11月30日から12月15日までの16日間にわたり開催され一般会計補正予算、総額19億3700万円余を含む33議案を審議した。補正予算には、「新型コロナウイルス関連 緊急支援策第8弾」として7億1700万円の他、市が管理する河川・水路の土砂浚渫を実施する「河川災害対策事業」1億5000万円や、市長等の特別職・議員・市職員の期末手当1億4600万円余の減額の条例改正について賛成多数で議決された。

新型コロナウイルス関連 緊急支援策第8弾

- 第二の柱 市民生活支援
 - ・家庭でのインターネット環境整備補助……………8000万円
 - ・校内の環境整備（机・椅子のリニューアル）……………4億6600万円
- 第三の柱 地域経済対策
 - ・地域公共交通機関（鉄道・バス事業者）への経営費補助……………1億7092万円

10月20日緊急会議報告

新型コロナウイルス関連 緊急支援策第7弾 (補正予算合計 3億4700万円)

- 第二の柱 感染防止対策
 - ・インフルエンザとの同時流行防止対策など4事業……………2億5480万円
 - 第三の柱 市民生活支援
 - ・各種支援制度の利用促進……………680万円
 - 第三の柱 地域経済対策
 - ・中心市街地へのテナント進出支援 2事業……………5000万円
 - 第四の柱 「新しい生活様式」に対応した社会の形成
 - ・シェアサイクルの導入など3事業……………3555万円
- その他の一般会計補正予算
- ・福島駅前にぎわい創出事業……………3400万円
 - ・防災情報配信システム整備……………7900万円

12月定例会議一般質問（抜粋）

今回の一般質問では、当会派からは大平洋人、石山波恵、萩原太郎議員の3名が質問に立ち、市政全般の諸課題を質しました。

公共交通の社会実験について

Q 公共交通が行き届かない地域を対象とした交通手段を確保するための本市の取り組みと今後の計画を伺う。

A 現在、市は大笹生、吾妻、立子山、松川の4地区で地域内交通導入に向けた社会実験を検討しており、11月2日からスタートした余目地区の乗り合いタクシーの社会実験と既存の実施の松川下川崎地区「乗合タクシー」あけび号も参考にしながら、今後、対象地域の住民と協議会を通して利用促進、経費、課題等検証し、定時定路線型のコミュニティバスやジャンボタクシーの運行、自宅と指定された目的地まで利用できる乗り合いタクシーなどから地域の需要に合致するかを慎重に検討し、本格導入が可能かどうかを実施時期も含め、判断する。



あけび号

朝ドラ「エール」放映後の取組

Q ふるさと寄付金の応援メニュー「古閑裕而のまち、ふくしま」の寄付状況を含め活用方法を伺う。

A 今年度のふるさと寄付金の寄付受入額のうち、応援メニューが「古閑裕而のまち、ふくしま」に係るものについては、11月末現在で267万7千円となっており、昨年度1年間の合計額である153万9千円に対し、約74%の増である。寄付金は、各種顕彰事業をはじめとする古閑氏と音楽を活かしたまちづくりの推進や、福島市の文化芸術の振興等に活用していく。



古閑裕而ストリートにある飛び出すマンホール蓋

屋外スピーカーと戸別受信機

Q 防災対策としての屋外スピーカーと戸別受信機の設置計画について伺う。

A 屋外スピーカーは、市内の浸水想定区域のうち、阿武隈川、荒川、松川、濁川、大森川沿いの浸水深3m以上の区域に加え、昨年の台風19号の浸水地域と、過去における浸水被害のあった区域を網羅し、区域内の公共施設等に合計27箇所設置予定。

戸別受信機の配置は、災害発生時に迅速かつ確実に避難情報が伝達できるように、各町内会組織をはじめ、高齢者施設や障がい者施設、保育施設等に対し、各1台を無償で貸与する。内訳は、町内会組織に約900台、高齢者施設等に約400台、障がい者施設、保育施設等に約200台、合計1500台を予定。



戸別受信機 ▲屋外スピーカー

昨年9月に菅新内閣が発足し、文科副大臣から復興副大臣に就任した亀岡代議士、生沼福島復興局長らと来年度よりはじまる「第二期復興・創生期間」初年度における概算要求を中心に懇談を行った。来年度は原子力災害からの復興・再生、産業・生業再生などに6331億要求しているとのことであり、当会派からは本市の残された課題である原子力災害からの復興や有害鳥獣被害対策等にも地域の実情に則したきめ細かな支援について亀岡副大臣に要望を行った。

亀岡偉民復興副大臣との懇談会開催

12月14日



パラリンピック競技であるポッチャは健常者との交流も図れ、手軽に楽しめることから、本市では各学習センターに用具を配備した。信陵学習センターでは10月から11月にかけて9回の講習会を開催していたので、当会派も競技



①改めて本市の財政状況について研修した。比較的健全財政で推移しているが、民生費は平成11年度との比較で2倍以上となっており、一方、土木費は2分の1近くになっており、分析を行った。

②新人議員による施設研修は、水道用水供給企業団、摺上川ダムにおいて、最新の設備で安全で安心な飲料水を供給していることを認識した。産業交流プラザでは、本市企業の更なる情報発信基地の役割を要望した。



研修報告

ポッチャ体験講習開催

11月5日

研修報告

- ①本市財務状況の研修
- ②会派 新人議員施設研修

NITTOKU(株)福島事業所視察 11月9日

飯野町にある福島事業所は、平成3年12月に設立し約300人の従業員が働いている。「自動巻線機システム」業界のシェアで世界NO.1を誇るトップメーカーであり、さいたま市の本社他、国内に事業所・営業所を有し、海外にも数多くの工場や事務所を置く。社員の説明を近藤進茂社長自らなされた。崇高な経営理念等を掲げ社会に貢献しているがゆえに、業績を伸ばしているものと感じた。本市の雇用・経済活性化の観点からも、企業の発展は重要なため、企業間並びに行政との連携促進等を政策に反映していく。



市長に「令和3年度予算編成に関する要望書」を提出 11月24日

新年度の予算編成が行われる時期を前に、日頃の会派・議員活動の中で市民から頂いた要望・意見等を政策に練り上げ各部毎に重点項目をまとめ会派予算要望書として市長に対し手交した。特に新型コロナウイルス対策については感染防止と経済の回復について、健康福祉部だけでなく観光・商工業・保育園・幼稚園・学校関係等を所管する部局が緊密な連携をとり、万全を期すよう要望した。



黒沢 仁
顧問(総務会担当)
建設水道常任委員
議会運営委員
ICT活用検討会委員
飯野町大久保字谷津44
TEL: 562-3582

渡辺 敏彦
顧問(幹事会担当)
建設水道常任委員
監査委員
松川町字青麻山3
TEL: 567-2660

半沢 正典
会長
文教福祉常任委員
上島渡字寺北28-3
TEL: 593-5256

大平 洋人
総務会長
総務常任委員
八島田字東本庄町4-27
TEL: 559-2043

白川 敏明
幹事長
総務常任委員長
飯坂町字中原36
TEL: 542-4041

小松 良行
副会長(政調会担当)
経済民生常任委員
議会運営委員
新庁舎西棟建設調査特別委員会委員
瀬上町字東町2-6-10
TEL: 553-0647

二階堂 利枝
政調会副会長
文教福祉常任委員
新庁舎西棟建設調査特別委員会委員
上野寺字道上13-3
TEL: 535-6719

石山 波恵
政調会副会長
経済民生常任委員
議会運営委員
置賜町8-18-402
TEL: 526-0852

萩原 太郎
政調会長
文教福祉常任委員長
新庁舎西棟建設調査特別委員会委員
山口字下屋敷28-2
TEL: 535-4693